

技士会通信

NO.1

5・6・7月 講習会等
その他行事予定☆☆

☆5/12 (土) 福井県建設会館
1級土木施工管理技士
受験準備講習会 (第1回)

☆5/17 (木) 福井県建設会館
技士会監査

☆5/26 (土)
福井県中小企業産業大学校
コンクリート診断士受験
対策セミナー (第1回)

☆6/5 (火) 福井県建設会館
技士会理事会

☆6/9 (土) 福井県建設会館
1級土木施工管理技士
受験準備講習会 (第2回)

☆6/19 (火) 福井県建設会館
技士会通常総会

☆7/10 (火)
若狭地区建設業会会館
H24 年度 JCM セミナー
(DVD 講習会)

☆7月中 (日程未定)
施工パッケージ研修



4月24日(火)福井商工会議所にて開催! 210名参加!

「工事成績向上に向けた施工セミナー」講義ポイント!

◎第一部 BCP (事業継続計画) 対策の必要性

- 災害時には地域建設業の活動が重要であり、その建設会社が被災した場合、地域の復興にも大きな障害となることが東日本大震災でも明らかになった。
- 「建設BCP (事業継続計画)」とは建設会社が被災した時に、事業を早く復旧するための方法と災害活動に早く対応するために必要な手段や情報などを、事前に計画を策定しておくものである。
- 「建設BCP」では、一般企業のBCPとは違い、災害時に行政と連携した活動を、早期の着手や早期の復旧作業開始ができるような体制作りが、地域建設業に求められている。

◎第二部 工事成績向上に向けた施工計画書の対策

- 建設会社の多くが、工事成績アップのために検査時の対応を行っているが、工事成績アップに必要なのは、施工途中における品質を証明する活動が重要になる。
- 工事成績評価においては、「主任監督員」などの日常の施工管理を見ている「第一評価者」の採点が重要で、日常書類を提出して、施工途中に監督員と連携した施工管理を実践することが必要。
- 施工計画書を過去の引用による作成や抽象的な表現ではなく、現地条件や工事の特徴に合わせて作成し施工に使用できる内容にして、施工管理を「施工計画書」に基づく「計画的」な管理を行う必要がある。
- 設計変更など、十分に協議が必要なことを、結果だけを議論するだけでなく、「予測管理」を取り入れ、監督員への段階的な報告や協議を行うようにしなければならない。

◎第三部 「情報化」の概要とTS出来形管理による業務効率化について

- 平成25年度より国交省直轄の土工工事 (道路・河川) においてTS出来形管理が一般化となる。
- 先月末、新たに「舗装工事編」の要領が策定された。
- 一般化実用化を推進させるため、工事成績評価および総合評価で加点対象となっている。
- TS出来形管理は基本設計データを基に出来形計測が行え、帳票が自動作成されるため、従来と比べてかなりの効率化ができる。
- ポイントは設計変更があれば再作成する必要がある基本設計データの作成。